

家も家族も
ずっと健やか



家も家族もずっと健やか エコキューブ

エコキューブの家に入ると、その違いはすぐに分かります。空気です。
家で過ごす時間が増えた今、暮らしの質に、気温、花粉や粉じんなどの
“空気の質”が健康に影響することを感じている人も多いはず。

エコキューブの家は、高機能換気システムが常に新鮮な外気を取り込み、
高断熱性能によって室温がほぼ一定なので、

熱中症、ヒートショック、ウイルス感染リスクを低減。

住む人が安心してくつろげる、快適な住み心地を実現します。

結露やカビによる住宅の劣化も防ぐので、家も健康な状態に保ちます。

断熱性能が高いので冷暖房費を節約でき、その効果が続きます。

新築住宅を建てるのではなく、中古住宅を活かすエコリノベーション。

快適に暮らすだけで、家も、家族もずっと健康。

快適に暮らすだけで、お財布にも地球にもやさしい。

エコキューブの家には、みんなが健やかに過ごせる空気が満ちています。



エコキューブについてのお問い合わせは下記まで：



本 社 / 〒460-0007 名古屋市中区新栄2丁目1番34号 リアル新栄ビル1F

TEL:052-228-6000 / FAX:052-228-6003



選ばれる理由



人を健やかに
For your well-being



空気を気持ちよく

花粉や粉じんなどを取り除く換気フィルター^{*1}を内蔵した熱交換式換気システムが室内の汚れた空気を排出し、新鮮な空気と入れ替え。深呼吸したくなるような気持ちのよい空気で家を満たします。



夏は涼しく冬は暖かに

熱の流入や流出を防ぐ高断熱・高気密住宅を実現。室温を一定に保ち^{*2}ながら換気するため、夏は涼しく、冬は暖かい住まいに。



アレルギーやウイルスを低減

高機能換気システムが花粉や粉じんの侵入を抑制するほか、室温を一定に調整。温度変化が少なく換気が行き届いた環境を常に保つことで、体調を崩しにくい住宅を実現します。

家を健やかに
For your home's well-being



結露とカビから家を守る

断熱材、内窓（樹脂製サッシ）、高機能換気システムの組み合わせによって、結露やカビの発生を抑えます^{*3}。



建材の劣化を抑制

空気環境を整えることで、結露による木材の腐食や建材の劣化を抑制します。

環境を健やかに
For your environment's well-being



人と環境に優しい住まい

エアコンを複数台つかう必要がなくなる^{*4}ため、冷暖房消費によるCO₂の発生を低減。住む人と環境の両方に配慮した住まいを実現します。



経済的な省エネ住宅

断熱性能が高く、高効率エアコンだけで室内の温度調整を行えるため、冷暖房費を節約^{*5}。その効果が続きます。



防音効果で快適に

内窓の空気層が外の音を低減し、室内の音が漏れるのを防ぐ防音壁としての役割を發揮。静かで快適な空間をつくります。



エコキューブの仕組み

温熱計算：施工前の住宅の状態を確認し、改修に必要な内容を調べたうえでリノベーションを行うことで、不要な工事、工期やコストを削減し、その物件に合った形で住宅性能を向上します。



① 断熱材

住宅の立地や構造は様々。それに応じて、必要な断熱材の量は異なります。エコキューブは物件ごとに温熱計算を行い、その物件に合った断熱計画を策定^{*6}します。一般的なグラスウールの約2倍の断熱・吸水性能を持つ断熱材を使用することで、長期間高い断熱性を維持します。



② 内窓（樹脂製サッシ）

家の中で最も熱が逃げやすい「窓」。エコキューブは高い断熱・防露効果を持つ樹脂製内窓を設置^{*7}。内窓と既存の窓の間の空気層が断熱効果を發揮して、外の気温の影響を受けにくくするほか、結露の発生を抑え、防音効果を実現します。結露によるカビやお掃除の手間が省けて、外の音を気にせず快適に過ごせます。

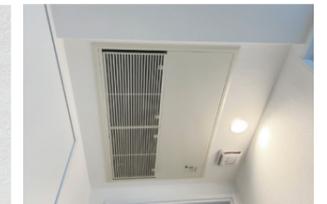
③ 熱交換式換気システム

高機能換気システムによって、外の空気を室温に近づけた状態で取り入れます。高性能フィルターが花粉や粉じんの侵入を抑えるため、アレルギーをお持ちの方にも安心。窓を開けなくても、24時間365日新鮮な空気を取り込みます。



④ 高効率エアコン

高効率エアコンを標準装備し、これまでお部屋ごとに設置していたエアコンを1台に集約。冷暖房の使用が少ないエネルギーで済むうえ、メンテナンスの手間やコストを削減することで、節約効果が続きます^{*8}。



^{*1} フィルターの性能低下や故障を防ぐため、定期的な清掃や交換が必要となります。

^{*2} ダクト式エアコンを採用する場合、室温はほぼ一定になりますが、部屋ごとの温度調整は行えません。壁掛けエアコンを採用する場合、部屋ごとの温度差が発生することがあります。

^{*3} 室内外の温度差が大きく室内湿度が高い場合には、結露が発生することがあります。物件の構造や条件などにより効果に違いがあります。

^{*4} Ua 値や外気温差、気積（床面積 x 高さ）などに応じて、適切なエアコンを採用します。壁掛けエアコンを採用する場合、複数台の設置が必要となる場合があります。

^{*5} 燃料調整費を考慮しない前提で、エアコンのみでの冷暖房を想定した弊社基準の温熱計算（電気代は計算時点の単価を使用）により算出しており、電力会社や契約プランによって効果に違いがあります。生活環境や物件の立地条件などにより、実際の冷暖房費と大きく異なる場合があります。

^{*6} 物件ごとに温熱計算を実施し、既存の断熱材を活かすことが可能な場合には、新規の断熱材を採用しないことがあります。

^{*7} Low-E 複層ガラスの樹脂製サッシを既存の窓の内側に設置し、断熱性能・気密性能を高めます。外窓の形状や開閉機構、大きさなどによって内窓が設置できない場合には、設置を行わないことがあります。

^{*8} 室内外の温度差が大きく室内湿度が高い場合には、結露が発生することがあります。物件の構造や条件などにより効果に違いがあります。

^{*9} ダクト式エアコンを採用することにより、1台で効率的な空調管理を行います。壁掛けエアコンを採用する場合には、COP（エネルギー消費効率）* 4.13 以上の省エネエアコンを採用します。物件の条件やお客様のご希望に応じて、ダクト式かダクトレス式のいずれかを採用します。（*冷暖房器具のエネルギー消費効率の目安として使われ、消費電力1kW 当たりの冷房・暖房能力を表します）